

平成28年度榑原市共有財産処分特別会計歳入歳出決算認定

平成28年度榑原市上水道事業会計決算認定

平成28年度榑原市下水道事業会計決算認定

報告

平成28年度榑原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告

平成28年度榑原市土地開発公社の経営状況の報告

可決された。

否決議案

決算案件

平成28年度榑原市一般会計歳入歳出決算認定

討論

次の議案について討論が行われました。

榑原市コンベンションルーム条例の制定

〔反対〕日本共産党

新分庁舎と公費によるホテルの複合施設には一貫して反対しており、コンベンションルームはそれに起因する。公の施設は市が直営管理しなければならぬが、この条文は指定管理により外部委託をするものである。直営で行うべきであり反対する。

予算案件

平成29年度榑原市一般会計補正予算(第1号)

新分庁舎におけるマイナンバーカードのシステム改造業務等委託料、総合窓口業務委託料及び平成29年度から平成32年度までの総合窓口業務等委託事業の債務負担行為を削除する修正案が提出され修正

平成29年度榑原市一般会計補正予算(第1号)

〔修正案賛成〕自由民主党

〔修正案反対〕自由民主党

システム改造委託料は、女性の活躍推進等に対応したマイナンバーカード等の記載充実のためのもので国の補助も確保されており必要である。また、総合窓口業務は委託することで、臨時職員と比べ、3年契約に基づき安定的で、繁忙期・閑散期などの業務量の増減に合せ適切な人員体制を組むことができる。総務省は指針等で、積極的な事務改革の推進に努めることを求めており、本事業は必要と判断し、修正案に反対し、原案に賛成する。

平成28年度榑原市一般会計歳入歳出決算認定

〔反対〕自民党

畝傍夜間中学校の職員室のパソコンは、備品登録は8台だが実態は10台使用し、年間10回程度、修理した領収書がある。支出に際し担当部局が精査したか疑問である。

超小型モビリティ事業は、3月議会で指摘があったが、6月、9月議会でも何ら意思

表示がない。この事業が実際に機能していたか疑義が生じる。万葉ホールに入店している

レストランの市に提出している収支報告を検証すると、市は家賃85%減免申請を認めている。報告内容では年間100万円前後の赤字である。にもかかわらず、新分庁舎1階に開店するレストランを中南海地区1位の飲食店を目指すという内容もあり、万葉ホールに入店しているレストランの報告書にも疑問が生じる。よって反対する。

〔賛成〕鍊政

厳しい財政状況においても、待機児童解消を図るため取り組み、子育て支援としては、通院に対する医療費の助成対象範囲を小中学生まで拡大した。また地元中小企業への緊急融資の継続や創業支援融資

の新設、都市基盤整備事業としては医大移転に伴う道路整備、橋梁の長寿命化工事なども取り組んだ。各種基金への積立てを積極的に実施し、起債残高も着実に減少させ財政健全化に取り組んだ。決算特別委員会で委員から様々な意見や要望が出たが、それらを

真摯に受けとめ、今後の市政に反映し、本市にふさわしい魅力あるまちづくりに引き続き努力することを願う賛成する。

〔反対〕日本共産党

経常収支比率が高く、財政の硬直化が進んでいる。類似団体と比較しても下位に位置する。住民の福祉の増進に努めることを優先すべきで、不要不急の大型公共事業開発を進めるべきではない。子どもの教育環境を整えるためエアコン設置は早期実施すること。地域活性化のため住宅リフォーム助成制度の創設や安心して外出・移動できる市公共交通路線の拡充など、市民の暮らし、福祉、教育重点の施策を進めるべきであることを提案して反対する。

平成28年度榑原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

〔反対〕日本共産党

被保険者全員に正規の保険証が交付されていない。法的軽減措置もしているが支払い額は限度を超えている。平成30年4月1日スタートの国民健康保険の県単位化により保